

令和5年度 第2回北杜市障がい者施策推進協議会 会議録

- (1) 会議名 令和5年度 第2回北杜市障がい者施策推進協議会
- (2) 開催日時 令和5年10月12日(木) 10時00分～
- (3) 開催場所 北杜市役所本庁 西会議室
- (4) 出席者(敬称略)

出席委員

小松二三子(会長)、大柴政敏(副会長)、中沢朝征、津田健夫、小澤亮、伊部和寿、坂本誠、清水毅、大塚鈴枝

欠席委員

岡田宗一郎、藤巻真美、飯室正明、山縣初美

事務局

清水市三(福祉保健部長)、鷹左右紀(教育総務課長)、向井幹裕(介護支援課長)、白倉充久(健康増進課長)、斎藤栄慶(こども保育課長)、津金胤寛(ネウボラ推進課長)、櫻井義文(福祉課長)、浅川清司(かざぐるま)、小池まどか(かざぐるま)、小尾さつき(障害福祉担当)、平澤薫(障害福祉担当)

会議録署名委員

津田健夫、大塚鈴枝

(5) 議題

- (1) 第4次北杜市障害者計画・北杜市障害福祉計画(第7期計画)・北杜市障害児福祉計画(第3期計画)骨子(案)について
- (2) その他

- (6) 公開・非公開の別 公開
- (7) 傍聴人の数 0名
- (8) 審議内容

1 開会のことば

(事務局)

これより令和5年度第2回障がい者施設推進協議会を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日の出席者は9名となります。障がい者施策推進協議会設置条例第6条に規定する過半数の出席がありますので、本日の会議を設置することを報告いたします。

それでは、小松会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

2 会長あいさつ

(小松会長)

この忙しい時に皆さんに出席していただき、協力していただき感謝いたします。ありがとうございます。今回は、前回ご承認いただいた計画に関するアンケートの集計結果等を踏まえた計画方針について協議を行いたいと思います。計画の基礎となる大事な部分になりますので、委員の皆様の活発な

ご意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。

(事務局)

この会議は北杜市障害者施策推進協議会設置条例第4条の規定により、公開、非公開の決定を開催前にあらかじめ決定することとされております。同4項第3条において、原則として公開すると規定されており、開催通知にて公開の是非をお伺いしたところですが、ご意義等ありませんでしたので本日の会議を公開としていたします。なお、本日は傍聴の申し出はありませんでしたので、報告させていただきます。

それでは次第の3議事に移ります。この先の進行につきましては、会長が議長となりますので会長にお渡しいたします。

(小松会長)

議事に入る前に、本日の会議の議事録署名人を選任したいと思います。議事録につきましては、北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条に基づき、協議会で指名するもの2名の署名人が必要になります。今回の署名人につきましては、津田委員と大塚委員のお二人にお願いしたいと思います。なお公開ですので、議事録は市のホームページ等で公開いたしますのでご承知おきください。また、公開に関しましては、発言者の氏名は公表されません。

3 議事

(1) 第4次北杜市障害者計画・北杜市障害福祉計画(第7期計画)・北杜市障害児福祉計画(第3期計画) 骨子(案)について(事務局より骨子案の説明)

■質疑応答・意見

(委員)

アンケート調査から見た現状と課題というところで、調査内容について少し参考に教えていただきたいところが2点ある。まず1点目、今回、障害者手帳所持者を対象として実施し、前回の会議でインターネット回答もお願いしたところ、対応していただいた。ありがとうございます。

去年の回収率に比べるとだいぶ回収率が低くなっていると思うが、その要因など分析しわかれば、教えていただきたい。

もう1点は、インターネット回答を今回初めて取り入れていただき、68件のインターネット回答があったとのことだが、この68件の方の障害種別、年代が分かれば、参考に教えていただきたい。

(SCOP)

回収率の低下に関しては、ご指摘の通り、障害者手帳所持者を対象としたアンケート、また一般市民アンケートともに減少している。実施方法は、前回の3年前と変わっていない。変わった点は、障害者アンケートの方にインターネット回答できるようにしたという、逆に手段を増やしたということにはなる点のみとなる。回収期間もぎりぎりまで延長したが、両調査ともに前回の回収率を10パーセント近く下回っている。要因の特定は難しいところで、私どもは他の自治体の様々な調査を手掛けているが、やはり定期的に同じようにやっている調査で大きく10パーセントぐらい下がっていると

いう同様のケースがあり、そちらもはっきりとした理由はわからない。時期の問題なのか、コロナを経て何か変化があるのか。調査のボリュームも前回と変わっていないので、どうして下がったのか、他のケースも今後参考にしながら、我々としても検証していきたい。今、明確に要因をお答えできず申し訳ないが、他の自治体でも同様のケースがいくつか見られているということだけお伝えさせていただきたい。

ご指摘の障がい者アンケートにおけるインターネット回答した方の属性について。今回は 2,011 件中 68 件がインターネット回答で、数は少ないがお答えがあった。現在、回答手段別の分析まではできていないため、この 68 件の方がどういう障害のある方か、どういう年代といったところは、次回ご報告させていただきたい。

(委員)

ありがとうございます。少し私が気になっていたのが、アンケート回答の回収率が下がったというのが、障害の重さ、程度によってアンケートにそもそも回答できない人が増えてきてしまったのか、それとも高齢によって答えられないということがあるのか。障害種別や年代によってアンケートに答えられないケースがあるのかが気になっている。例えば、障害をお持ちで能力的にアンケートに答えられないとか、高齢になってしまってアンケートに答えるだけの力がないとか、答えるのを忘れてしまうということがあれば、そういった方々の意見はアンケートから漏れてしまうことが考えられる。漏れてしまった人たちの意向を調査するにはどういった方法があるのかと考えていたところである。

(委員)

資料 2 ページの 2 行目に令和 30 年とあるが、これは平成 30 年の間違いか？

(事務局)

誤字のため、次回素案までに修正したい。他にも誤字あるかもしれないが、次回、素案までに修正させていただく。

(委員)

計画策定の参考にしていただければと思うが、先日、県の会議へ出席し、障害者スポーツのことに関して話題になった。例えば蕪崎市さんは、市の体育館を改修中で、パラスポーツのできる施設として完成を目指している。パラスポーツ備品も新たに購入する予定とのことだった。その他、蕪崎市の市民がパラスポーツの指導員講習会に参加する場合は、テキスト代を市が補うといった事業があるなどの報告があった。また、富士吉田市の体育協会会長からは、市の体育館改修計画の中で、パラスポーツを計画の中に入れた改修をしていくとの報告を受けた。

皆さんもご存じだと思うが、9 年後には山梨県で国体と全国障害者スポーツ大会があるということで、前回の会議の中でも話をしたが、各市町村、社会福祉協議会を中心に、一般市民向けにパラスポーツの普及啓発と気運醸成に向けて取り組みを強化していく流れがある。また、小中学校を対象にパラスポーツに親んでもらう機会を作ることについても指摘されているので、そういった点も含めて、障害者の福祉計画に入れていただければと思うが、その点はいかがか。

(事務局)

北杜市におきましても、障害者スポーツの普及のための指導員の講習のテキスト代補助事業がある。その普及啓発については、十分周知できていない部分も確かにあるため、今話にありました10年後の国体に向けてより一層の周知啓発ができればと考えている。この計画の施策、資料では40ページにあるように、赤字で新しく追加した要素として、地域活動、スポーツ活動への参加支援という形で、施策として盛り込みたいと考えているので、また、次回素案にまとめさせていただければと思う。

(委員)

ぜひとも小中学生にもパラスポーツに触れてもらう機会を作っていただければと思う。

(委員)

1つ目、資料4で市長の挨拶が白紙になっているのはどういうことか。

2つ目に、ヘルプマーク、ヘルプカードについて、北杜市だけの範囲ではなく27市町村において、その普及率や認知率についてまとめてデータとして載せていただくとよいと思う。

3点目に、障害者差別に関して、実際に北杜市の状況を見るとやはりまだ皆さんの知識が少ないと感じている。この状況に対して、今後どう対応していくべきかを検討していきたいと思う。

(事務局)

市長のあいさつは次回の素案でお示ししたい。またヘルプマーク、ヘルプカードの他市町村のデータがあるかどうか確認したい。

障害者差別の課題については、かざぐるまに相談が上がってきにくい現状もあると思うが、年間1、2件くらいの相談件数にとどまっている。現状を踏まえると、相談場所の周知にはまだまだ課題があると思っている。

情報入手の方法などを見ると、インターネットも増えてきているため、ホームページや市のLINEなどいろいろなメディアを活用しながら普及啓発をしていきたいと思う。また、民生委員の会議などあらゆる場の活用をしながら、啓発していければと思っている。

(委員)

基本目標の安心・安全に暮らせる環境づくりの中で、障がい者に対する避難行動の支援や避難所生活への配慮といった施策があり、新しく移動手段の確保も盛り込まれているが、災害時の避難関係についてはより具体的な施策を出してほしい。避難訓練は全体としては行われているが、障害者独自の訓練は行われていない。障害者だけの避難訓練など具体的な支援策を出していただきたい。

(事務局)

委員から安心、安全なまちづくりに関しまして、障害者の方の避難行動、緊急時における行動に関して指摘があった。担当の消防防災課と密に連携を取りながら、より具体的な指針、指標といったものが作れるよう協議したいと思う。

現状、おそらく障害のお持ちの方は、施設等に入っていれば、その施設の避難対応マニュアルなどがあり、それに沿った動きはできると思うが、自宅にいる障害者の方等については、具体的な避難行動の指針がおそらくないため、今後協議しながら作成していければと思っている。

(2) その他

■ 質疑応答・意見

(小松会長)

それでは、本日の議事につきましては終了といたします。委員の皆様におかれましては、活発なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。

引き続き委員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

4 閉会

(事務局)

次回協議会は連続となってしまいますが、来月、11月24日の金曜日1時半を予定しております。ご協力をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和5年度第2回北杜市障がい者施策推進協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

以上

会議録署名委員

会議録署名委員
